

報道関係 各位

2003年5月
眞露ジャパン株式会社

新スローガン『Let's JINRO』の新CMスタート

仲間で「JINRO MOVES(ムーブス)」を楽しむ

「Let's JINRO ホームパーティ篇」

「Let's JINRO オフィスパーティ篇」

5月10日(土)~25日(日)全国で集中オンエア

眞露ジャパン株式会社(本社:東京都港区、代表取締役:金泰勲)では、「JINRO」の新テレビCMとして「Let's JINRO ホームパーティ篇」「Let's JINRO オフィスパーティ篇」「Let's JINRO 見上げる男篇」を2003年5月10日(土)より全国で放映いたします。新テレビCMでは、「JINRO」のスローガンを『Let's JINRO』に刷新し、従来のお酒のCMにはない独自のトーンで、「JINRO」ならではの自由な楽しさや「JINRO」で深められる仲間とのつながりを表現してまいります。

『Let's JINRO』は1996年より7年間にわたって「JINRO」のスローガンとして使用した「楽しいお酒 JINRO」に代わるもので、「JINRO」が「楽しいお酒」から、楽しい仲間が過ごす時間やシーンの中で、「仲間同士の合言葉」となり、「JINRO」があると、いつもの楽しい仲間が、より親密になれる...”お酒として様々なシーンで活躍したい。そういう願いを込めています。

今回の新CMでは、ホームパーティやオフィスパーティといった楽しい仲間同士が集うシーンが登場します。仲間たちは皆、「JINRO」を片手に、仲間の共通の合言葉であり動きである「JINRO MOVES(ムーブス)」を楽しんでおり、仲間同士のつながりを「JINRO」がシンボリックに表現しています。

お酒のCMでありながらお酒を飲むシーンがないのも特徴で、商品を飲むことを促すことよりも、「JINRO」から得られる“楽しさ”“仲間とのつながり”といったコミュニケーションのあり方を表現することを重視しました。

CMの演出はカナダ出身、ロサンゼルス在住のグラフィックアーティスト、ジェフ・マクフェトリッジ(Geoff McFetridge、31歳)が担当。やさしさと遊び心にあふれた彼の世界観が今回のCMにも横溢しており、独特の味わいがある、印象深いCMになっています。

いつものようにパーティが始まり、いつものように「JINRO MOVES(ムーブス)」が始まる

「Let's JINRO ホームパーティ篇」ではホームパーティを舞台に、「Let's JINRO オフィスパティ篇」ではオフィスパティを舞台に、いつもの楽しい仲間が集まり、「JINRO MOVES(ムーブス)」を楽しみながらより親密になっていく様子が描かれています。また、「Let's JINRO 見上げる男篇」では、「Let's JINRO オフィスパティ篇」のオフィスパティの光景を、ビル前の路上から見上げる男性の視点で描いています。

「Let's JINRO ホームパーティ篇」「Let's JINRO オフィスパティ篇」ともに、淡々とした映像の中に隠れた演出を発見する楽しみがあります。「ホームパーティ篇」では、バラバラな踊りのなかでひとりロボットダンスのような踊りを披露する女性がいたり、後ろ向きのデッキチェアに座った女性が「JINRO」のボトルを振っていたり、踊っている人たちの後ろを自転車が通り過ぎたりします。「オフィスパティ篇」では、デスクの上で踊る男性がいたり、パーティーの奥で踊っている人がチラッと見えたり、風船が一個浮いていたり、コピー機の光が音楽にあわせて点滅したり、踊っている男女の後ろをただ通り過ぎるだけの女性がいたりします。

3篇ともCMの最後に、親しみやすいイラストで描かれた「Let's JINRO」のスローガンロゴが登場します。このロゴ自体も、手書きイラスト感覚のアニメーションによって「JINRO MOVES(ムーブス)」しています。

やさしさと遊び心あふれる「JINRO MOVES(ムーブス)」の演出・ロゴ・音楽

演出のジェフ・マクフェトリッジは、ソフィア・コッポラがデザイナーをつとめる女性服ブランド「MILK FED.」(www.milkfed.jp/)のTシャツのデザイン、ソフィア・コッポラが演出した映画「ヴァージン・スーサイズ」のタイトルのタイポグラフィーやポスター等のグラフィックデザインにとどまらず、映像の分野でも評価の高いグラフィック・デザイナーです。雑誌「Relax」や「スタジオ・ボイス」でも紹介され、2001年6~7月には「パルコギャラリー」で個展を開催するなど、やさしさと遊び心あふれる作品が日本でも高く評価されています。

当社では、「Let's JINRO」という新しいブランドスローガンを新鮮かつ普遍性のある世界観で表現できると考え、ジェフ・マクフェトリッジの演出への起用を決定しました。

「JINRO MOVES(ムーブス)」の独特の動きも彼のオリジナルで、出演者のオーディションを行う際も、踊りの上手さではなく個性をいかに出せるかがポイントになりました。さらに、CMのラストに登場する「Let's JINRO」のロゴおよびそのアニメーションも彼のデザインです。

今回のCMはジェフ・マクフェトリッジにとって日本でのCM初演出作品で、彼の多彩な才能を楽しむのも当CMの見方のひとつといえるでしょう。

遊び心豊かな楽しい音楽「JINRO MOVES(ムーブス)ミュージック」は、ロサンゼルス在住の作曲家・ミュージシャン スティーブン・ネレオ(Steven Nereo)が作曲しました。彼は、自ら「Slabco」というレーベルを立ち上げて活躍。また、「裏原宿系のカリスマブランド」といわれる「Bathing Ape(バッシング エイプ)」のレコードレーベル「Apesounds(エイプサウンズ)」からアルバム「Future Home of Burbank Elks」をリリースしており、穏やかな空気感あふれる音楽世界が好評です。「見上げる男篇」に登場するビルを見上げる男性は、実はスティーブン・ネレオで、たまたまCM撮影を見学に来ていた彼を演出のジェフ・マクフェトリッジが見て、その場で出演を決定したということです。

CM概要

CMタイトル: 「Let's JINRO ホームパーティ篇」 (15秒)
「Let's JINRO オフィスパティ篇」 (15秒)
「Let's JINRO 見上げる男篇」(30秒)

企画・製作: 株博報堂
クリエイティブ: 木原 秀樹、松井 美樹
プランナー: 岡田 大輔、川村 真司
プロデューサー: 中江 康人、ケイシー・コール(Cayce Cole)
制作: 丹羽 貴幸
演出: ジェフ・マクフェトリッジ(Geoff McFetridge)
撮影: ヤン・トーマス(Yon Thomas)
照明: ジェームス・チャイルダース(James Childers)
美術: ジェフ・ヒギンボサム(Jeff Higinbotham)
スタイリスト: ジェニファー・ジョンソン(Jeniffer Johnson)
ヘアメイク: マハ・サーデ・レスナー(Maha Saade Lessner)
音楽: 作曲 スティーブン・ネレオ(Steven Nereo)
振付: ジェフ・マクフェトリッジ
出演: ロサンゼルスでのオーディションで選ばれた男性13名、女性8名



< Let's JINRO ホームパーティ篇 >